

令和 8 年 5 月 25 日

保護者の皆様

稲美町立加古小学校
校長 瀧 口 泰 広

SNS のトラブルから子どもたちを守るために

1 はじめに

近年、インターネットやスマートフォンが広く普及したことで、大人だけでなく、子どもたちも日常的にネット社会の中で生活するようになっていきます。

中でも、スマートフォンなどを利用した情報発信ツールである SNS は、誰とでも手軽につながり、さまざまな情報を共有できる便利なものです。しかし、その一方で、多くの危険性やトラブルが潜んでいることにも目を向けなければなりません。

また、令和 8 年 4 月には、子どもたちが安心して生活できる環境づくりを目的として、稲美町において「稲美町いじめ防止対策推進条例」が制定されました。SNS 上での誹謗中傷や仲間外れ、トラブルなど、インターネット上のいじめ問題への対応もますます重要となっています。

こうした現代の情報社会において、子どもたちが正しい情報リテラシーや情報モラルを身につけ、安全にインターネットを利用できるようにすることは、私たち大人の大切な役割です。

そこで、以下のように、SNS の現状や危険性、さらに家庭や学校でできる取り組みについて整理しました。

子どもたちが学校・家庭・地域の中で安心して健やかに成長できるよう、また、SNS によるトラブルから子どもたちを守るために、ぜひご理解いただきたい内容や、ご協力をお願いしたい点をまとめています。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

2 最近、学校内外で発生している SNS を利用した具体的トラブル事例

小学生の間でも、TikTok や Instagram、LINE、YouTube などの SNS 利用が急速に広がっています。その一方で、SNS に関するさまざまなトラブルも実際に起きています。

- ・他人の名前を出した悪口や嘘の投稿・グループ内での排除
- ・「死ね」「キモイ」といった暴力的・差別的な言葉の使用
- ・「いいね」や返信の有無による過度なストレス、執拗な追い込み
- ・他者の写真や個人情報（名前、住所、学校名）の無断拡散
- ・卑猥・性的な言葉を含む投稿、自撮り写真・動画の不適切な発信
- ・SNS 上で知り合った外部の人間との接触



兵庫県警察 HP より

3 主要 SNS の年齢制限 (2026 年 4 月現在)

プラットフォーム	年齢制限（原則）	留意事項
TikTok, Instagram, Facebook, X	13 歳以上	
YouTube	13 歳以上	13 歳未満は保護者の同意が必要
LINE	12 歳以上推奨	未成年は保護者の同意が必要となる場合があります。

※年齢制限を遵守しない、あるいはリテラシーが不十分な利用は、「子ども同士の喧嘩」の枠組みを越え、法的な「損害賠償責任」などの深刻な事態を招きます。

4 SNSの怖さ

- ・軽い冗談や何気ない発言のつもりでも、相手を深く傷つけてしまうことがあります。
- ・子どもによる行為であっても、内容によっては責任を問われ、損害賠償につながる場合があります。
- ・SNSに投稿した文章や写真、動画などは、削除した後でも、スクリーンショットや転載によって残り続ける可能性があります。

5 保護者の皆様をお願いしたいこと

① 家庭で利用のルールを決めましょう

- ・使用する時間や場所、利用する内容について、家庭内でわかりやすくルールを定めましょう。
- ・就寝前にはスマートフォンやタブレット端末をリビングで充電するなど、使用環境を整えることも大切です。

② お子さまと一緒に利用状況を確認しましょう

- ・定期的に、スマートフォンやタブレット端末の使い方を一緒に確認しましょう。
- ・「どんなアプリを使っているの？」など、日頃から気軽に話せる関係づくりを心がけましょう。

※放課後のSNS利用は、原則として「保護者の監督・管理下」にあります。ICT機器は「子どもの所有物」ではなく「保護者からの貸与品」とするという認識が、リスク抑止の鍵となります。

6 学校でできること、できないこと

できること	できないこと
児童へのネットリテラシー教育・指導	SNS投稿の強制削除 (学校が削除することはできません)
関係者への聞き取り	損害賠償に関する交渉 (民事対応は保護者の判断となります)
心理的支援・登校支援などの配慮	
保護者への情報共有と協力依頼	

※いじめを除く学校外でのトラブルは原則として保護者の責任で対応いただきますが、児童の安全確保や学級運営のため、学校でも情報共有が望まれます。学校生活に関わる人間関係などについては、学校外のことでもぜひお知らせください。学校は身近な相談機関として、保護者からのご相談や情報提供をお受けします。

7 おわりに

SNSは、使い方を間違えるとトラブルにつながる場合があります。しかし、正しく使えば、たくさんの情報を得たり、人とつながったりできる便利な道具です。「まだ小学生だから大丈夫」と考えるのではなく、「小学生だからこそ、大人と一緒に使い方を学び、教えていく」ことが大切です。それがお子さんを守ることにつながります。学校と家庭が連携しながら、お子さんの安全と成長を見守りましょう。